

(様式9)

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5 年 3 月 16 日

業所名 エターナルプラスアカデミー志家町教室

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容及び改善目標
環境 ・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	33%	50%	17%	限られたスペースではあるが、運動内容を工夫している。	活動時には物の配置の工夫やスペースわけの工夫をします。
	2	職員の配置数は適切であるか	100%			加配の職員を配置し必要な人員配置を随時行っている。	適切な人員配置に引き続き努めます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	17%	50%	33%		施設の構造の問題点を随時改善します。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	67%	33%		定期職員会議や毎日のミーティングの話し合いで業務改善に努めている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	83%	17%			評価表やアンケートの結果を踏まえて改善に努めます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%			事業所内に掲示し、保護者に配布している。ホームページでも公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	17%	17%	66%		実施していないので今後対応します。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%			定期的にWEB研修を行っています。	
適切 な 支	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	83%	17%		アセスメントシートを使用しご本人やご家族のニーズ把握に努め支援計画を作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	67%	33%		分かりやすく簡潔なツールを使用している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	83%	17%		活動プログラムの内容を毎日のミーティングで確認・修正している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%				新しい内容を積極的に取り入れていきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	66%	17%	17%	ニーズや利用時間に合わせたプログラムを設定している。	個に応じたニーズの把握に努めます。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容及び改善目標	
支援の提供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	83%	17%		より多彩なプログラムを提供できるように研究と研鑽に励みます。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	83%	17%		事前に支援内容や役割分担を共有することでより細やかな支援につなげます。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	83%	17%		翌日のミーティングで情報共有をしている。	より細やかな情報共有に努めます。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	67%	33%		業務日誌やサービス提供ケア記録を作成し、支援の検証・改善に努めている。	より適切な記録を作成し、共有することで支援の検証・改善に努めます。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%			定期的にモニタリングを実施している。	必要に応じてモニタリングの時期以外にも計画の見直しを行います。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	83%	17%		基本活動を組み合わせさせて支援している。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	83%	17%		児童発達管理責任者が参加している。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	83%	17%		連絡帳や電話、送迎時などに保護者との情報共有等を行っている。	学校とも情報共有をすることでよりきめ細やかなサービスにつなげます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	17%	50%	33%		対象となる利用者はいませんが、必要に応じて対応します。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	17%	66%	17%		対象となる利用者はいませんが、必要に応じて対応します。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	17%	66%	17%		事例はありませんが、必要に応じて対応します。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		100%		支援会議等で助言を受けている。	支援会議等で受けた助言を基に支援に当たります。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	100%			公共施設等での活動機会を設けている。	
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	100%			協議会、支援会議に積極的に参加している。	協議会の開催があった場合は、積極的に参加します。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%			連絡帳等にその日の様子を記入している。送迎時にも情報共有をしている。	職員の保護者対応の質の向上に努めます。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	83%	17%		お便りにてペアレントトレーニングを紹介している。	研修を受けるなどペアレントトレーニングの知識を深めます。	

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容及び改善目標
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	83%	17%		見学时や契約時に行っている。	法改正や利用料の変更など必要に応じて説明を行います。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	83%	17%		要望があった際は、随時相談支援を行っている。	電話や送迎時など日々の相談に対しても丁寧に対応します。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		33%	67%		保護者会は開催していませんが、検討します。保護者参加の行事を検討します。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	67%	33%		苦情窓口を設けている。	苦情が寄せられた場合は、迅速かつ丁寧に対応します。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%			月毎に行事予定表、お便りを発行している。ブログでも情報発信をしている。	
	35	個人情報に十分注意しているか	83%	17%		施錠できるロッカーで管理している。	連絡帳等の誤返却等にも留意します。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%				
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	17%	33%	50%	利用者以外も参加できる講演会や相談会を実施している。	利用者以外を対象とした活動の企画を検討します。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100%			各種マニュアルを策定しており、契約時に説明をしている。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%			定期的（年2回以上）に訓練を実施している	定期的な訓練の内容を見直し、より良い訓練を実施します。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%			外部の研修に参加し、事業所内でも職員研修を行っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%			契約時に説明をしている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%			アセスメントシートに基づいて対応している。	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%			ヒヤリハット報告書を作成している。	ヒヤリハットの事例を共有して改善策を講じます。	